

水島中央病院

中務 治重



はじめに

岡山医学会関連の皆様には平素から大変お世話になり有難うございます。水島中央病院は今年、平成23年6月で創立50周年を迎えました。この節目の年に当院の病院紹介に関する寄稿依頼を頂いたことは誠に有難く、感謝申し上げます。また水島中央病院の半世紀を回顧しますと創設期から大変多くの方々に多大なご支援を頂き本日に至っており、お世話になりました多くの皆様方に心からお礼を申し上げます。

現在の水島中央病院は地域の最前線基幹病院として水島のみならず広い地域の住民や水島工業地帯従事者の医療を地域の医療機関と連携をとりながら担っています。また卒後医師臨床研修病院として、さらに看護師・コメディカルや救急救命士の実習病院として医療従事者の育成にも尽力しています。

地域における位置づけと役割

1. 位置づけ

岡山県南西部医療圏、水島地区人口約9万人、高齢化率19.5% (cf; 倉敷市21.6%)、医療施設は病院7、有床診療所2、医院38。水島七病院の役割分担は明確で相互に連携し地域医療を担っています。

2. 当院の役割

「地域に根ざした、地域の最前線基幹病院」として医療の原点に立ち、一般急性期、一次・二次救急を担当。

医療圏は水島を超え、広く児島や玉島など周辺地域の患者を受け入れ、

対応困難症例は岡山大学病院、倉敷中央病院や川崎医科大学病院に紹介。

病院のかたち

1. 沿革

昭和36年 四名の創始者が開放型病床を持つ50床の病院を開設。

水島工業地帯の発展に伴う医療需要に対応。

昭和54年 ピーク時343床。

平成11年 310床を二分割し新しい水島中央病院と倉敷リハビリテーション病院を創設。水島中央病院は急性期及び救急医療を担う一般病床155床、姉妹病院となった倉敷リハビリテーション病院はリハビリ・慢性期疾患を主体とした155床。

平成22年10月 社会医療法人(救急医療を担う)となる。

2. スタッフ

全職員数273名、常勤医師23名、非常勤医師(常勤換算)5名、看護師131名、薬剤師7名、リハビリ療法士27名、放射線技師8名、検査技師9名、事務職39名、栄養士3名、MSW3名、そのほか23名。

3. 診療科

内科、胃腸科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、アレルギー科、歯科。

4. 病棟

一般病床155床、うち亜急性期病床10床、回復期リハビリ病棟52床。

5. 水島中央病院の理念

「安全で質の高い医療により地域医療に貢献します」。

6. 病院の方針

「誠実で確実な医療を基盤に高いレベルの医療を心がける」。

病院の機能

各科とも高い医療水準を維持。

通常の外来診療は月～土曜の6日間。休日、夜間は日当直医2名体制。

学会認定・修練施設：日本消化器病学会認定施設、日本外科学会専門医修練施設、日本整形外科学会専門

医研修施設，日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設。

警察協力医，産業医として地域に貢献。

平成13年3月 日本医療機能評価機構認定。

平成21年4月 DPC 導入。

平成21年10月 電子カルテ導入。

平成22年3月 7：1看護体制開始。

病院の運営

明るく楽しい，やりがいのある職場であること。

職員がそれぞれ十分に実力を発揮できるよう職場環境を整える。

各種委員会でよりよい病院運営を維持：運営会議，医局会，主任者会議，倫理委員会，院内感染対策委員会，救急委員会など。

医療安全の重要性：医療安全管理委員会を月1回開催。

安全情報管理委員会（SICC）：インシデント・アクシデントを収集，解析。

患者権利の確保：①病状・検査や手術に対する十分な説明などの情報提供。②選択の自由や自己決定権は最大限尊重。セカンドオピニオン。③個人情報保護に対する十分な対策。

診療記録の開示：基本的には全て開示。

平成20年6月 職員用保育園を開園。

平成22年1月 看護師寮を新築。

研修および実習病院として

卒後医師基幹型臨床研修指定病院：平成15年から認定。定員二名ながら現在まで6年間フルマッチ。実践的な診療能力を身に付けた良い研修修了医を育て，希望する診療科へ

自信を持って送り出すことができていることは当院の誇り。

医師研修協力病院：岡山大学病院，川崎医科大学附属病院，倉敷成人病センター，河田病院，心臓病センター榊原病院，守屋おさむクリニック，井上クリニック，奈義ファミリークリニック。

川崎医科大学小児科専門医研修関連病院。

救命救急士の薬剤投与実習病院。学生実習：看護学生，リハビリ，栄養科，薬学，医療事務の学生，放射線科や検査技師の見学や職場体験学習として中学生や高校生を受け入れ。

実績（平成22年度）

一日平均外来患者数556名。
救急車搬入1,691件。CPA 49件。
時間外受診患者数 一日平均15.3名。

一日平均入院患者数121.7名。
平均在院日数 一般病床12.9日。
手術件数903例，うち全身麻酔248例。

健診数2,093名。
年間死亡数84例，剖検2件。
警察協力医5名，検死49例。
産業医4名，9事業所。
救命救急士の薬剤投与実習（倉敷市消防局）13名。

研修医，実習生，学生の受け入れ：
院外研修医3名，医学生実習3名，
看護学生112名，リハビリ学生18名，
栄養実習生4名，医事課実習生9名，
薬剤部2名。

職場体験学習：6中学校15名，1
高校5名。

年報：平成16年から毎年発行。

今年3月11日に発生した東日本大震災に対し岡山県と岡山県医師会の医療支援にそれぞれ1チームを派遣：岩手県大船渡市，宮城県石巻市。

地域連携

地域医療連携室：医療ソーシャルワーカー3名。

地域の医療啓発活動：院内講演会の適宜開催，糖尿病教室，講演会など。病院の広報誌「ホスピタルニュース」。

水島七病院長会（水島七和会）。
地域連携ネットワーク体制：七つの病院のMSWが主催。

脳卒中や心筋梗塞の医療連携：県が主導する以前から倉敷地区で取り組み。

今後の方向

当院の方針：「確実に高いレベルの医療を誠実に続ける」。

水島中央病院の今後：地域における最前線の基幹病院として時代の要請に柔軟に対応し，地域医療を通じて社会に貢献する。

これからも地域社会に対し，確実に高いレベルの医療で誠実に応え続けることが私たち水島中央病院に与えられた使命であると考えています。岡山大学同門の諸先生方にはこれからも末永くご支援，ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成23年8月受理
〒712-8064 倉敷市水島青葉町4-5
電話：086-444-3311 FAX：086-446-0993
E-mail：h.nakatsukasa@mch.or.jp
<http://www.kct.ne.jp/~mch/>